



地域おこし協力隊 報告書

2019年度 青木貴絵

CONTENTS

- ①移住関係
- ②子育て関係
- ③国民文化祭関係
- ④ディレクション・コピー関係
- ⑤Usuki Farmer's Marketひやくすた関係
- ⑥その他
- ⑦まとめ

① 移住関係



■ 移住ツアーアテンド

「うすきおためし暮らし」

2019.7.26~28、2019.11.9~11、2019.1.31~2.2

■ 移住フェアにて臼杵を紹介

「おおいた暮らし塾in東京」2019.3.15

「おおいた暮らし塾in大阪」2019.5.25

■ 移住者交流会スタッフとして

「つながりみ〜ていんぐ」2019.12.7

＜一緒にお仕事させていただいた皆さん＞

- ・ 臼杵市役所秘書総合政策課
- ・ 市民生活推進課
- ・ ひとねるアカデミーの皆さん
- ・ ふるさと支援回帰センターおおいた窓口相談センター



県外へフェアに出向き臼杵を紹介し、実際に移住ツアーにきていただいた方をアテンドし、移住への意識を高めてもらい、実際に移住した方達が繋がれる場づくりをしました。一連の流れの中で、それぞれの場面でダイレクトに反応を聞くことができ、移住を訴求するPR戦略までつなげることができました。

②子育て関係

自然体験モニター体験

「親子で育ち合おう 思いっきり海遊び編」

2019.8.9

@旧豊洋中学校周辺

〈一緒にお仕事させていただいた皆さん〉

- ・臼杵市役所秘書総合政策課
- ・ひとねるアカデミーの皆さん



臼杵の自然を使って子どもたちの学びの場にするには、実は住んでいながらあまり活用していないことに気づきました。この企画の優れていた点は、子どもに学びの場を与えるだけでなく、親も一緒に学べたこと。リスクマネジメントの話から自然体験学習がもたらす脳への刺激まで、大人も新たな発見をすることでさらに子どもたちにもたらす恩恵が増えることを知り、もっと臼杵の自然環境を利用した体験を子どもにさせたいと強く感じた企画でした。



③ 国民文化祭スピンオフ企画

GO ANAI水鏡SUIKYOU PHOTO EXHIBITION

写真回顧展 2019.2.2~2.17

前年に開催した国民文化祭での「水鏡」という舞台を、臼杵市在住の河野よし子さんが撮影してくださいました。その回顧展をコンパルホールさん協力のもと開催しました。当日はケーブルさんが撮ってくださった動画の上映もあり、舞台を観に来てくださった方が再度足を運んでくださったりと、思い出深い時間を過ごされておりました。このような機会をまた臼杵で開催できたら素晴らしいなと感じております。

- ＜一緒にお仕事させていただいた皆さん＞
- ・コンパルホール関係者の方々
 - ・河野よし子さん

④ディレクション・コピーライティング関係

臼杵のイメージを従来のものから脱却させ角度を変えて伝えていくことで、今までもやのかかっていた1つのシールドのようなものを突き破る勢いが欲しいと思い制作しました。現場の声やワークショップから出た答えを導き出し、このようなデザインやコピーが生まれました。



「白の字、覚えてください」
コピーライティング
臼杵市秘書・総合政策課
デザイン：907



「うすき丸5つの約束」
コピーライティング
臼杵市秘書・総合政策課
デザイン：Yone



「春の食フェス」
コピーライティング
臼杵市おもてなし観光課
デザイン：907

USUKI OITA



臼杵時間、体感

移住希望者向け モニターツアー うすき おためし暮らし

はじめまして。大分県臼杵市です。
大分県東南部に位置する海と山に囲まれた
温かな気候に恵まれた小さなまちです。

2019年度の移住モニターツアーを開催します。
夏、秋、冬の3回の実施です。

臼杵の歳さを感じて、ゆったりとした空気に身を委ねてください。
あなたの心のどこかで探していたものが見つかるかもしれません。

- | | | |
|---|---|--|
| <p>第1回</p> <p>7/26●→7/28●</p> <p>臼杵の暮らしを知ろう
with自然体験</p> <p>for kids編</p> | <p>第2回</p> <p>11/9●→11/11●</p> <p>知りたい!!
臼杵の就業・起業</p> <p>臼杵のはたらき編</p> | <p>第3回</p> <p>1/31●→2/2●</p> <p>悠々自適?に
臼杵で暮らす</p> <p>アザラシ編</p> |
|---|---|--|

募集対象：子育て世代のカップル・夫婦、ファミリーで臼杵へ移住をお考えの方、シニアの方、単身の方、Uターンの方

申し込み
うすきツーリズム活性化協議会事務局
TEL0974-32-7181 FAX 0974-32-7764
Mail: info@usuki-hkan.com HP: www.usuki-hkan.com



主催：臼杵市役所、うすきツーリズム活性化協議会 協賛：吉岡六太村グリーンツーリズム研究会、臼杵作楽の里さん

USUKI

移住希望者向け モニターツアー うすき おためし暮らし

第1回
7/26●→7/28●
2泊3日



臼杵の暮らしを知ろう
with自然体験
for kids編

7/26(土)は自然体験のプログラムがいっぱい盛りだくさんです。自然体験は、子どもから大人まで参加OKです。自然体験は、子どもから大人まで参加OKです。自然体験は、子どもから大人まで参加OKです。

- | | | |
|---|------------------------------------|--|
| 募集要項 | 参加費用 | 参加条件 |
| <p>■定員 5組</p> <p>2020年7月26日(土)～28日(日)まで</p> | <p>■参加費用 無料</p> <p>※お食事は別料金です。</p> | <p>■参加条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住したい意向のある方 ・移動の手段としてマイカーが必須にしたい方 ・臼杵市の観光情報などを積極的に取りたい方 ・臼杵市の観光情報などを積極的に取りたい方 |

申し込み
メール・電話・FAXの受付
2020年7月26日(土)～28日(日)まで

主催：臼杵市役所、うすきツーリズム活性化協議会 協賛：吉岡六太村グリーンツーリズム研究会、臼杵作楽の里さん

USUKI

移住希望者向け モニターツアー うすき おためし暮らし

第2回
11/9●→11/11●
2泊3日



知りたい!!
臼杵の就業・起業・継業
臼杵のはたらき編

臼杵市立「図書館・図書館」は、市民の生活を支える重要な役割を担っています。市民の生活を支える重要な役割を担っています。市民の生活を支える重要な役割を担っています。

- | | | |
|---|------------------------------------|--|
| 募集要項 | 参加費用 | 参加条件 |
| <p>■定員 5組</p> <p>2020年11月9日(土)～11日(日)まで</p> | <p>■参加費用 無料</p> <p>※お食事は別料金です。</p> | <p>■参加条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住したい意向のある方 ・移動の手段としてマイカーが必須にしたい方 ・臼杵市の観光情報などを積極的に取りたい方 ・臼杵市の観光情報などを積極的に取りたい方 |

申し込み
メール・電話・FAXの受付
2020年11月9日(土)～11日(日)まで

主催：臼杵市役所、うすきツーリズム活性化協議会 協賛：吉岡六太村グリーンツーリズム研究会、臼杵作楽の里さん

USUKI

移住希望者向け モニターツアー うすき おためし暮らし

第3回
1/31●→2/2●
2泊3日



悠々自適?
臼杵で暮らす
アザラシ編

臼杵市立「図書館・図書館」は、市民の生活を支える重要な役割を担っています。市民の生活を支える重要な役割を担っています。市民の生活を支える重要な役割を担っています。

- | | | |
|--|------------------------------------|--|
| 募集要項 | 参加費用 | 参加条件 |
| <p>■定員 5組</p> <p>2020年1月31日(土)～2月2日(日)まで</p> | <p>■参加費用 無料</p> <p>※お食事は別料金です。</p> | <p>■参加条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住したい意向のある方 ・移動の手段としてマイカーが必須にしたい方 ・臼杵市の観光情報などを積極的に取りたい方 ・臼杵市の観光情報などを積極的に取りたい方 |

申し込み
メール・電話・FAXの受付
2020年1月31日(土)～2月2日(日)まで

主催：臼杵市役所、うすきツーリズム活性化協議会 協賛：吉岡六太村グリーンツーリズム研究会、臼杵作楽の里さん

「うすきおためし暮らし」コピーライティング 臼杵市秘書・総合政策課 デザイン：sacca

東京や大阪といった全国規模の移住フェアに行くのと痛感するのが、田舎の風景写真を使った画一的なポスターやチラシ。確かに都心以外、日本の原風景ってどこも一緒かもしれない。であれば...? から発想を得たデザインです。目に留まり手に取っていただき、臼杵を知るきっかけとなり、ツアーに参加したというお声も聞きました。

⑤ USUKI FARMER'S MARKET ひやくすた関係 広報・SNS発信

立ち上げから実行委員として携わらせていただいております。生産者の皆さんの農業への信念を間近で感じることができとても幸せに思っています。マーケットでは撮影とSNS発信をしますが、私は特に人の写真を撮るのが好きです。農家さんは野菜のことを話している時が一番幸せそうだし、お客様とのふれあいや子どもたちの笑顔を見つけてはシャッターを切っていると、こちらが幸せな気分になります。これからも持続できるよう力を入れていきたいと思っております。



⑥ その他

プレゼンはできれば遭遇したくない仕事の1つですが、この仕事をしていると結構な場面でプレゼンの機会をありがたくもいただきます（笑）。初めて講師として60分程度話したのが広報講習会でした。反省点は多々ありますがいい経験をさせていただきました。広報白杵のリニューアル案やエッセイの執筆など、白杵の暮らしの中にヒントを得ることが多く、仕事に暮らしが直結していることを改めて知る機会となりました。

広報白杵リニューアルディレクション

「広報うすき」
リニューアルについてのご提案

SDGsとは
2016年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」は、持続可能な未来を創造するために、2030年までに世界の課題を解決するための目標です。

SDGsの目標

目標1 貧困をなくそう	目標2 飢餓をゼロに	目標3 健康と長寿を追求する	目標4 質の高い教育をみんなに	目標5 ジェンダー平等を実現しよう	目標6 水と衛生	目標7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	目標8 働きがい、経済成長、雇用	目標9 産業、イノベーション、 基盤構造物	目標10 人や国を豊かに	目標11 住み続けられるまちづくりを	目標12 持続可能な消費と生産	目標13 気候変動に具体的な対策を	目標14 海の豊かさを守ろう	目標15 陸の豊かさを守ろう	目標16 公正で平和な社会を 実現しよう	目標17 パートナーシップで 目標を達成しよう
-----------------------	----------------------	--------------------------	---------------------------	-----------------------------	--------------------	--------------------------------------	----------------------------	------------------------------------	------------------------	------------------------------	---------------------------	-----------------------------	--------------------------	--------------------------	-----------------------------------	--------------------------------------

広報講習会 講師として

仕事ができる、
魔法の広報術

2020.03.16 青木貴樹

- 1、キーワードを絞って楽になろう…「ひらめきでアイデア・言葉は生まれない」
- 2、ターゲットを絞って楽になろう…「ある車メーカーと白杵は似ている？」
- 3、Well-beingを知って楽になろう…「世間一般で語ること？」

1 キーワードを絞って楽になろう
「ひらめきでアイデア・言葉は生まれない」

実際にしつこくやっていることは、必ず結果を出す

実践1 キーワードを絞る

実践2 ターゲットを絞る

実践3 Well-beingを知る

実践4 ポスターのキャッチコピー

実践5 記事の執筆

広報うすきエッセイ執筆（全34回）

地域おこし協力隊 あおきえの 移住日記 vol.32
ちいさな暮らし、こちよい時間

私のルーツと青木家の栄養について

あと数ヶ月で白杵に来て3年目を迎えようとしています。私は地域おこし協力隊といっても大分市からの県内移住で、実家が近くなったり比較的便利な方に生活が動いた移住例になると思います。隣りの市から市への移動なのに、私の暮らし方は180度変化しました。それはどっちの市があーだこーだ、という意味に囚われるのではなく、私自身の暮らしの方向性が白杵なりに傾倒した、馴染んだという風な言い方が妥当かもしれません。むしろ私のなかに根付いているものが元々「こちよ」だったのかも知れません。

母の生きの上での居場所がおそらく私のルーツなのかも知れません。幼少期はアーバンな住宅街の中で育ちました。その中でも母の付き合いは「カントリースタイル」で、小学校の担任が家庭訪問に来たら夕飯を持たせたり、最終的には家族ぐるみのお付き合いになったり。おせっかいというかほっとけないというか…。その後、長い坂道が家の前にあるような新興住宅街に引っ越しましたが、その際も共働きの両親を持つ小学生たちが母になつき自然と子どもたちが集まる賑やかな家になりました。長い坂道では頻りに自転車で転倒する学生が多かったのですが、その場に遭遇すればすぐ助け病院に運んであげたり…。私の中では大膽な行動に見えつつもそんな母が当たり前にいることで、どこか私も少なからず影響を受けていたんだと、白杵に来て痛感しています。ここでの近所付き合いは、母がこれまでしていたことの延長線上のようで、どこか懐かしくしっくりきていて居心地がよいのです。先日仕事で遅くなったので、納豆と味噌汁でもいいものかと悩んでいたところに、タイとイサキが玄関にかけられていました。最近では、味噌汁と漬物でいいやと思っていたところ、近所の友人から魚のフライと刺身のおすそ分け。美味しく食べている様子を見て思ったこと、「青木家の栄養は〇〇家・〇〇家・〇〇家・からできている」、野菜に魚がおかずにと、牧草にいとまがないほどのみなさまで成っているのだと、しみじみと家族3人でありがたみを楽しみ始めております。さて2020年は少しでも〇〇家に恩返しできるように頑張りたいと思います。

問合せ先 秘書・総合政策課（内2303・白杵庁舎）



▲お散歩のときに落ちた木の葉は、我が家の林道に投入さず

⑦まとめ

地域おこし協力隊に晴れて合格し、お世話になる部署にご挨拶にお伺いしたところ、2017年3月。坂ノ市と臼杵を結ぶ道路「臼坂道路」を通った際の満開の桜に感動したのを覚えています。

それから3年、移住の取り組みをはじめ、臼杵の農業や文化、自然などあらゆる分野のお仕事に携わらせていただき、発信してきました。

行政の仕事に携わることで、まちとは何か？ まちづくりとは何か？を（まだまだ勉強不足ではありますが）教えていただきました。

行政は町の心臓部だと思います。細部まで血を巡らせるためにポンプし続ける。血が巡らないことには脳は死に、体は動かなくなります。常に見えないところで四六時中動かし続けているそのポンプは、私たちの暮らしを守り続けてくれていることを知りました。

全てのことは単体で完結するものではなく、臼杵の環境や自然、人、行政と、常に相互に交わり循環し続けているから町が成り立ち、暮らしが生まれてゆくのだと実感しています。切迫する日々々に性急に答えを出しがちだった自分が、対話に耳を傾け熟考を重ねることを、臼杵の方々から学ぶことができました。

これからもアンテナをしっかりと張って、一つひとつに納得のゆく答えを導き出していきたいと考えています。



令和元年度 地域おこし協力隊活動報告

【活動期間】

2017/12/18～2020/03/31(2年4ヶ月間)

2020年3月19日

三中西 篤

目次

- ✓ 臼杵市から与えられたミッション(業務内容)
- ✓ 協力隊活動中に追加された業務
- ✓ 与えられたミッションの振り返り
- ✓ その他あれこれ
- ✓ 協力隊活動の全体スケジュール
- ✓ 令和2年度の活動予定
- ✓ 卒業に向けて ~なりわいづくり~

臼杵市から与えられたミッション(業務内容)

★活動期間:2017年12月18日～2020年3月31日(2年4ヶ月間)

① ゲストハウス運営推進

- ・城下町の雰囲気を活かせる空き家等の物件発掘、所有者への説明
- ・運営者の発掘、既存の運営者との連携

② 地域交流プログラム作りとモニターツアーの開催

- ・臼杵らしい地域資源を活かした地域交流(体験)プログラムの企画、発信
- ・地域交流プログラムの担い手(実践者)の発掘、連携
- ・モニターツアーの開催

③ 交流・滞在促進事業の運営の仕組検討

- ・ゲストハウスと地域交流プログラムのコラボレーションを検討



城下町での交流・滞在促進企画による
中心市街地の活性化

協力隊活動中に追加された業務



④「うすきチャンネル」MC担当

【経緯・内容】

- ・2018/08/18 OAB大分朝日放送番組「れじゃぐる」に出演
「地域おこしがうまいかない」とWエンジンのえとう窓口さんに手紙
- ・OAB、えとう窓口さんと共同で「ホッとスタジオ」開設
- ・2018/10/27よりインターネット番組「うすきチャンネル」放送開始
毎週土曜日12:55~14:10頃までYouTube・臼杵ケーブルで生放送
(過去放送分はYouTubeでいつでも視聴可能)



臼杵の魅力を世界に発信！



与えられたミッションの振り返り

① ゲストハウス運営推進

【活動内容・実績】

- ・空き店舗の利活用を促す「空き家・空き店舗ツアー」を3回開催
(①2018/01/28, ②2019/02/09, ③2019/11/10)
- ・2018年1月に実施した空き店舗ツアーで紹介したクランクイン
→移住者が改修して入居・開業。2019年4月より民泊を開始
- ・2019/12/04 起業家を支援する「IM養成研修」修了
(IM=インキュベーション・マネジャー)

【課題・難しかった点】

- ・2018年6月より民泊新法が開始。しかし…空き家の活用がより困難に
家主不在型民泊は防火対策等が必要→改修には莫大な費用がかかる
- ・既存宿泊施設の稼働率は70%以下 →宿泊場所が足りていないわけではない
- ・空き店舗が急激に増加 →利活用できた物件もあるが、追いつかない
- ・今後、起業家を支援することで、空き店舗の利活用を促進したい

与えられたミッションの振り返り

② 地域交流プログラム作りとモニターツアーの開催

【活動内容・実績】

- ・担い手と一緒に体験プログラムを開発（線香作り体験他）
- ・2019/02 おもてなし観光課と臼杵体験のパンフレットを作成
- ・2019/03/24 九州町並みゼミでオプションとして臼杵体験を実施
- ・2019/04/27 定住外国人向けに臼杵体験を実施
- ・2019/11 RWC観戦客に日帰り臼杵体験を企画・PR
- ・2019/12/14 上浦・深江イルミネーションFestivalでシャトルバスを運行
- ・2020/01 大分県内の高級ホテルに日帰り臼杵体験プランを提案 他

【課題・難しかった点】

- ・新型コロナウイルスの影響で、ツアー企画が中止に
- ・今後、地域のイベントをツアーに組み込みたい

与えられたミッションの振り返り

③ 交流・滞在促進事業の運営の仕組検討

【活動内容・実績】

- ・2018/10/24 国内旅行業務取扱管理者試験に合格
- ・2019/04/26 第3種国内旅行業「三中西ツアーリスト」(サンツアー)登録
(大分県知事登録 旅行業 第3-220号)
- ・2019/11/24 総合旅行業務取扱管理者試験に合格
- ・2020/01/31 第3種総合旅行業に変更 →受注型海外企画旅行が可能に

【課題・難しかった点】

- ・定款や書式作成など、旅行業開始のためにゼロから準備する必要あり
- ・1人でツアー開催するには、対応できる受け入れ人数に限られる
- ・今後、旅行業やツアー企画で臼杵市全体の観光業を盛り上げたい

与えられたミッションの振り返り



④ 「うすきチャンネル」MC担当

【活動内容・実績】

- ・毎週土曜日12:55~14:10頃までYouTube・臼杵ケーブルで生放送
2020/03/28迄で、全70回配信。(別業務等で4回欠席)
- ・MCだけでなく、番組構成・指揮するディレクターも4回担当
- ・YouTube・ツイッターで双方向コミュニケーションが可能
→毎回の視聴や実際に臼杵に遊びに来てくれるコアなファンを獲得
- ・総視聴回数が5万回を突破
(YouTubeのみでカウント。臼杵ケーブルを含めるともっと)
- ・OABの番組内やテレビCMで「うすきチャンネル」を多数宣伝

【今後の課題】

- ・2020年3月末でOABの技術支援が終了→自分達で番組制作する必要あり
- ・予算がない →スポンサー探し、広告収入の獲得
- ・視聴者数の増加(目指せ！チャンネル登録者数:**1,000人**)



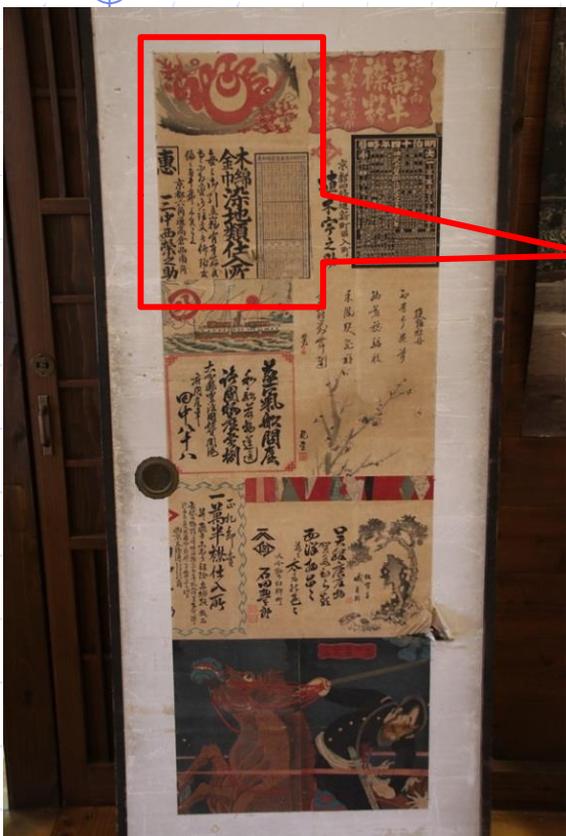
【出演テレビ番組】

- ・2018/08/18, 09/29, 10/06, 10/13, 11/03,
2019/10/26 OAB 「れじゃぐる」
- ・2018/10/27 OAB 「OAB大感謝祭」
- ・2019/01/16 OAB 「スーパーJチャンネルおおいた」
- ・2019/03/10 OAB 「ふるさとCM大賞」
- ・2019/10/25, 2020/03/13
OAB 「金様の鍵」
- ・2019/11/21 NHK 「いろどりOITA」
- ・2019/12/02 NHK 「おはよう九州沖縄」
- ・2019/09 U-Net 「素白」(1ヶ月間)



その他あれこれ

② 石田屋で「三中西」のふすま大発見！



2018.05.29 大分合同新聞より



2018.06.14 朝日新聞より

縁もゆかりもなかった白杵で
三中西と白杵のご縁を発見！！

その他あれこれ

③ うすき竹宵で2年連続(2018, 2019年)

般若姫行列の真名長者役に



その他あれこれ

④ 結婚 & 長男誕生



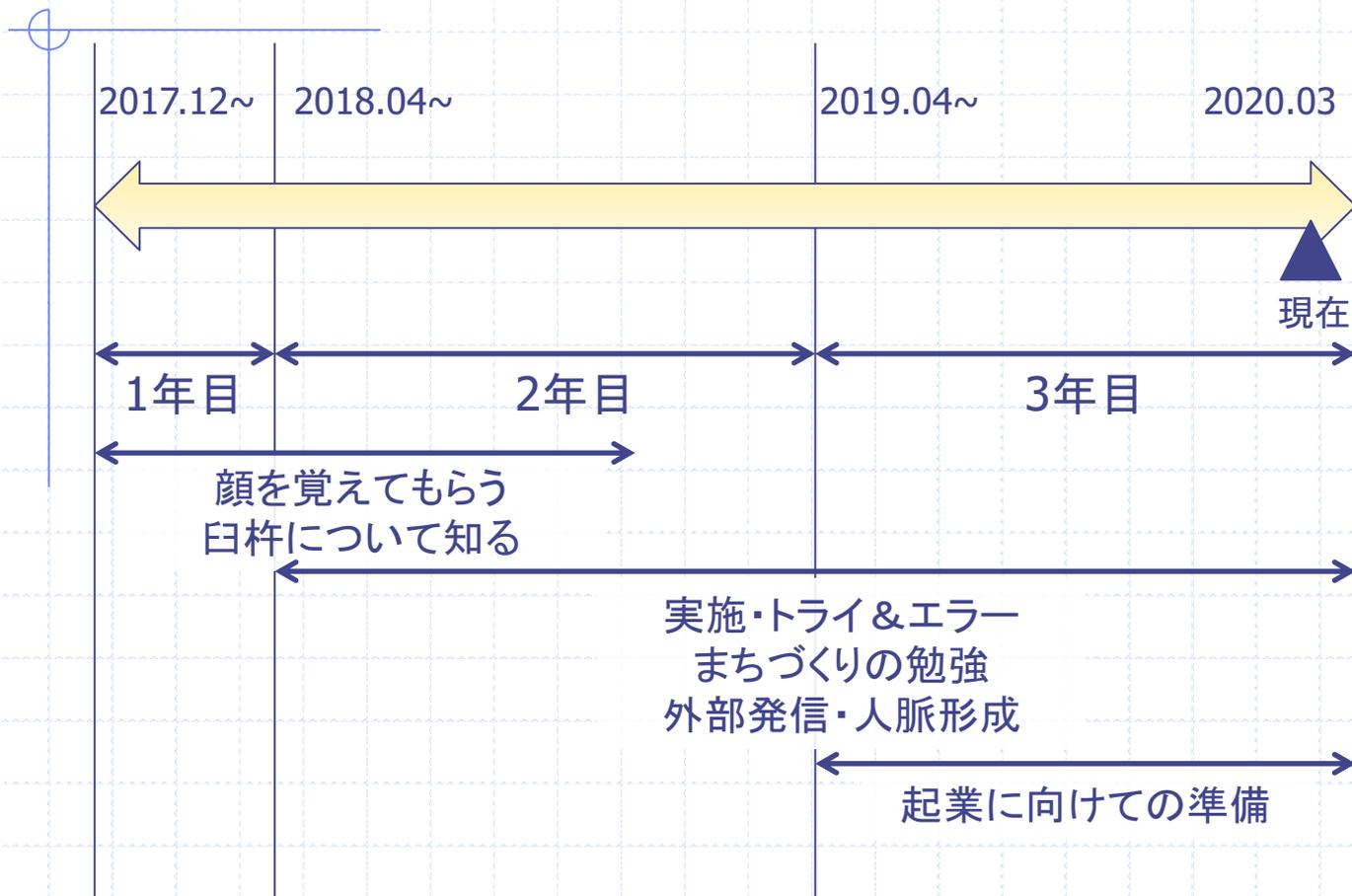
2019/04/26 結婚

2019/08/20 長男誕生

臼杵市人口 2名増！！

協力隊活動の全体スケジュール(当初の予定)

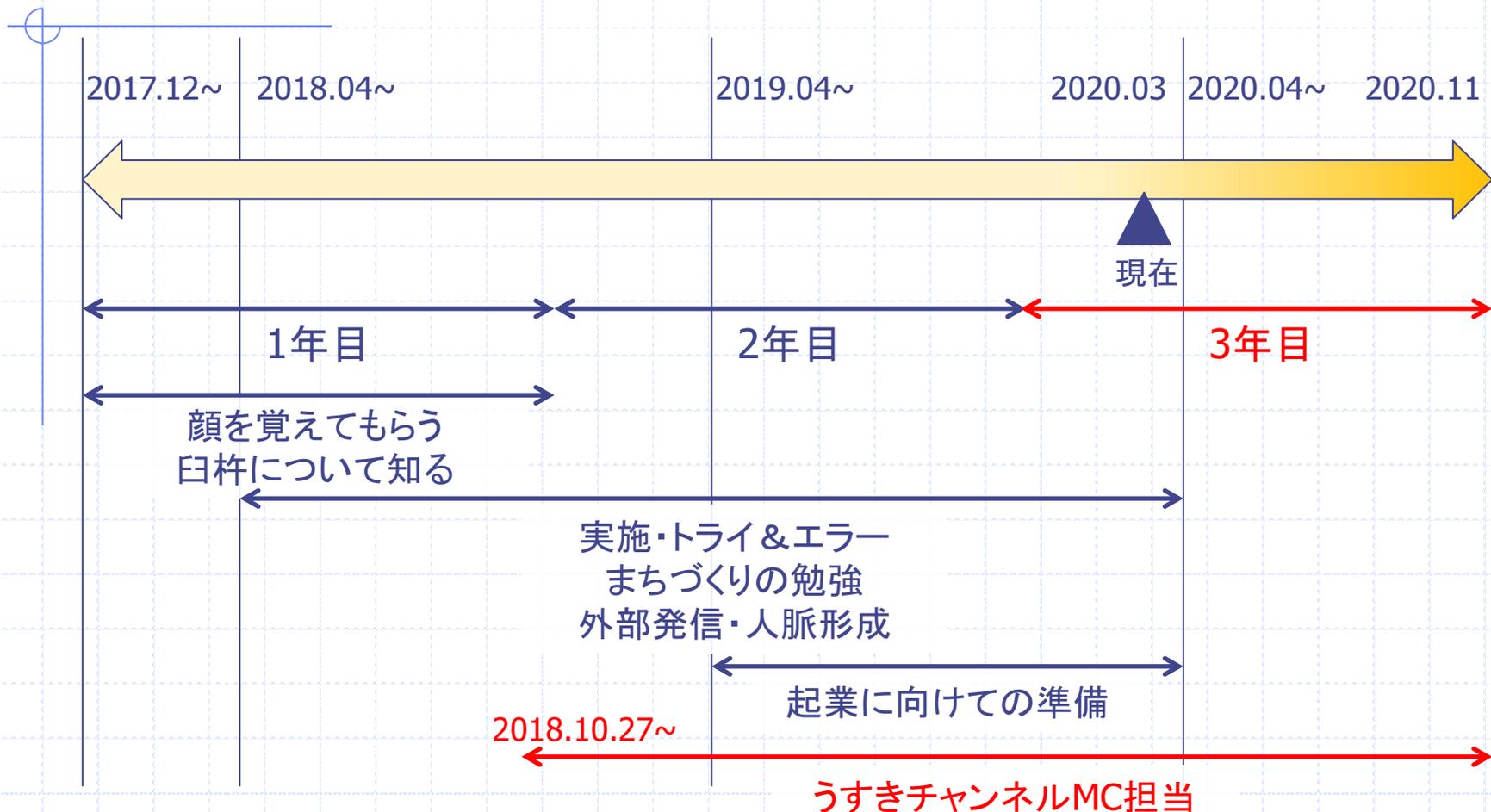
★活動期間:2017年12月18日～2020年3月31日(2年4ヶ月間)



年度制のため、活動期間は2年4ヶ月間

協力隊活動の全体スケジュール(変更後)

★活動期間:2017年12月18日～2020年11月30日(3年間)



活動期間を36ヶ月に変更。11月末まで頑張ります！

令和2年度の活動予定

① 臼杵観光業の活性化

- ・旅行業を活かした宿泊型臼杵体験ツアーの企画・開催
- ・新しい観光組織立ち上げへの参画
- ・観光業として、臼杵にお金が落ちる仕組みづくり

② うすきチャンネルの番組制作

- ・番組内容の企画・制作(ディレクター)
- ・収録・出演
- ・動画編集・配信
- ・スポンサー探し ⇒雇用の創出 & 事業化
- ・広告収入の獲得 ※但し、チャンネル登録者数1,000人、視聴時間4,000時間/12ヶ月以上が必要

2本柱で臼杵を盛り上げます！

卒業に向けて ～なりわいづくり～

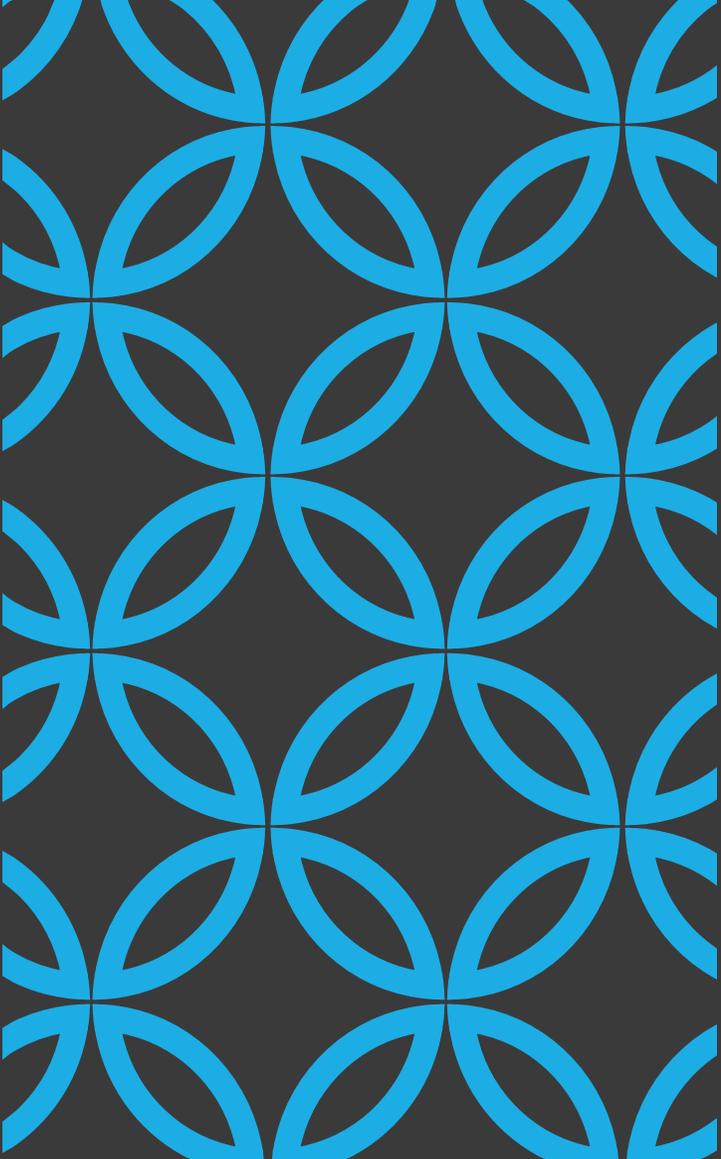
新型コロナウイルスからの教訓・・・観光客の激減⇒旅行業への被害甚大



多業によるリスク分散 & 安定収入の実現

- ① 旅行業「三中西ツアーリスト(サンツアー)」※大分県知事登録 旅行業 第3-220号
 - ・臼杵滞在・体験ツアーの企画
 - ・臼杵市民・団体向け 市外・県外・海外ツアーの受注型企画旅行 承り中！！
- ② 整体「三中西整体」 自宅開業してます！出張もします！（完全予約制）
 - ・1時間4,000円
 - ・この資料を見た⇒初回1,000円引
 - ・1ヶ月以内リピート⇒500円引 他まずはお電話ください！ 090-3721-5654(受付:9時～21時)
- ③ 観光まちづくりの仕事？

これからもご声援のほど
よろしくお願い致します！！



2年目のツアーリズム 担当として

フィンガー陽子

活動1年目との変化

1年目（2018年4月から2019年3月）

1) 着任後の初めての仕事は、ツーリズムの地域の現状を知るため、農泊家庭の所在地を自ら探して回る

→農泊家庭へのアクセス状況や、実際のお客様が農泊家庭を初めて見た時の農泊家庭のイメージを把握できた

2) 臼杵市内のイベントや集まりに参加

→臼杵市内で活動している様々な方との交流ができた

3) 臼杵ツーリズム活性化協議会のサポートとして、グリーンツーリズムの現場対応に重きをおく

→農泊家庭との繋がりができた。またグリーンツーリズムの現状や課題が明確化された



4) 2018年12月より臼杵ツーリズム活性化協議会の専属事務員が産休に入ったため、メールでの対応、現場でのフォロー等さらにグリーンツーリズムに深くかかわるようになった

→吉四六さん村グリーンツーリズム研究会に深くかかわることにより、様々な気づきがあった

5) 大分ツーリズム大学に参加

→大分県内の地域資源を生かしたツーリズムの振興やネットワークづくりを通じた地域リーダーの育成を目指すもので、参加したことにより大分県内に様々なネットワークができた。また、観光等の第一人者の講義など知識の掘りさげに役立った



↑ 今後の仕事に活かせる様々な情報、
知識を得ることができた



↑ 吉四六さん村の定例会
／受入の様子

6) その他

→観光やインバウンド等の研修に参加、2018年11月には、
ムラ旅九州のフランスプロモーションに参加し、九州全体の農泊の魅力を現地にて
伝える。

2年目 (2019年4月から2020年3月)

2年目

1年目の活動の中で、将来に繋がりたい農泊活動として吉四六さん村グリーンツーリズム研究会のサポートをしていくことを決定。

1) 農泊部長として、農泊希望者の農泊家庭アレンジ

農泊希望者のリクエストを聞きながらの農泊家庭のマッチング

お客様の満足度を高めるために事前の情報収集なども積極的に

行う

2) 旅行会社対応

→主にインバウンドの団体
向けのアレンジを行う

3) 農泊のお客様の当日お迎え、 翌日の送り

当日：野津中央公民館

翌日：吉四六ランド

4) 滞在中のフォロー

農泊家庭で具合が悪くなった
インバウンドのお客様のフォロー
を英語でできたのは、いい思い出



5) インバウンド団体の石仏観覧のガイド及びコーディネーター

→野津で農泊をして、翌日に石仏を観覧した後フェリーターミナルまでお連れして、ホテルに宿泊した団体ガイドにお客様を引き継ぐ



見えてきた観光の課題

臼杵といえば石仏と、誰もがイメージをする「石仏」。

しかし、この2年間の中で、その良いイメージを生かし切れていない臼杵の観光体制に気づく。

- ・ 設備的な面でいえば、
和式から洋式に変えただけのトイレ。

- ・ ソフト面では、

石仏のガイドの在り方、石仏でのお客様への情報提供の在り方、窓口のおもてなしの対応などがあげられる。

今後、どのようにして観光客を取り込んでいくのか検討すべき部分だと思う

6) 希望者に野津の普現寺を案内

地元資源を活用し、また丁寧な若奥様の禅の話は、
インバウンド客に大好評



地元 普現寺の案内

7) 農泊家庭向け自主研修

特徴的な料理の得意な家庭から、みんなで料理を
教えて貰う研修



8) 吉四六さん村グリーンツーリズム研究会の課題解決に向けて打合せ

9) その他

研修参加

①徐々に3年目の協力隊任期終了後に向けて、起業研修に参加

②臼杵市創業支援講座 受講

③先進地の農泊体験

未来に繋がる農泊へ

吉四六さん村グリーンツーリズム研究会の農泊は、18年目を迎えようとしている。しかし、農泊家庭の減少や、高齢化により当日の体験作業が困難になる等、設立当初と違った変化が起きている。

しかし臼杵市（主に野津）で続いてきた農泊は、



地域資源を掘り起し、そこに住む住人のプライドも向上させる。
また、農泊家庭にとっても、お客様をお迎えすることは、
生きがいになり、家庭に収入という潤いをもたらす。
地域に続いてきた暮らしを次世代につなぐということなど
メリットがとても多い



今後

- ・ 吉四六さん村グリーンツーリズム研究会が続いていくための体制の検討
- ・ 若い世代を取り入れた仕組みづくり
- ・ 農泊家庭にとって負担のない体験づくり

外に向かって

- ・ 他地域では、味わえない白杵の農泊のアピール
- ・ 農泊家庭のランキング化

3年目（2020年4月～）

3年目

自分自身の地域おこし協力隊の任期終了後に向けた取り組みをしつつ、2年間で集積した人脈、知識を活用していきたい

- ① 自宅改装 ビジネスも検討？
- ② 農泊家庭のパンフレットなどの充実
- ③ 農泊家庭の情報提供のありかた 検討
- ③ 農泊家庭 体験の充実

移住者として

2018年3月の末に、臼杵に移住。2年が終了しようとしている。

横浜育ちであり、首都圏で働いていたため、地方都市で暮らすのは、初めてであった。電車やバスなどを気軽に利用できた生活から自分で車を運転する生活になり、移動手段が劇的に変わった。

保育園にすんなり入所できたことで、仕事の可能性が広がり、ありがたく思っている。

小さな都市だからこそ、見えてくるものも多いが、移住したことは、良かったのではないかと感じている。

2年間

有難うござい
ました

臼杵市地域おこし協力隊
インバウンド担当

令和元年度(2019.4-2020.3)活動報告

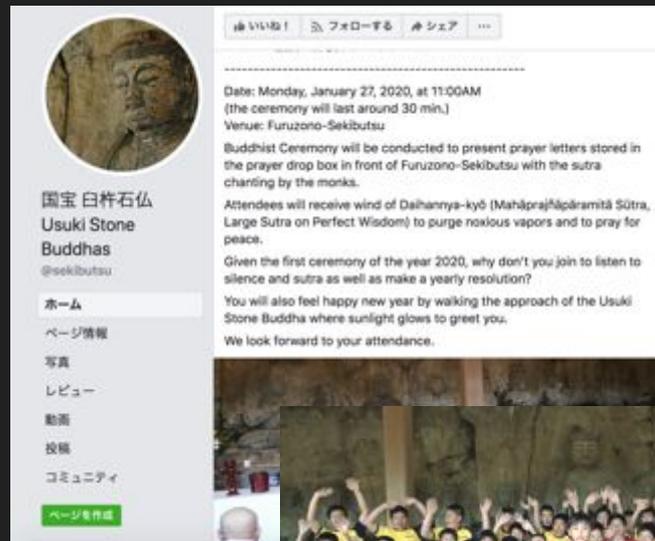
業務内容

- ① SNS、ホームページ等を活用した国内外への観光PR
- ② 商店街等でのインバウンド対策の企画・実施
- ③ 外国人観光客等への通訳サポート及び臼杵の魅力伝達
- ④ インバウンド対策に取り組む各種団体との連携
- ⑤ その他インバウンド対策に関する企画立案

①SNS、ホームページ等を活用した国内外への観光PR

臼杵石仏事務所からの観光PR

Try & Remember Usuki Project (RWC2019おもてなしPR動画)のナレーション翻訳



Facebook post from Usuki Stone Buddhas (@sekibutsu) dated Monday, January 27, 2020, at 11:00AM. The post announces a Buddhist ceremony at Furuzono-Sekibutsu. The text includes: "Date: Monday, January 27, 2020, at 11:00AM (the ceremony will last around 30 min.)", "Venue: Furuzono-Sekibutsu", "Buddhist Ceremony will be conducted to present prayer letters stored in the prayer drop box in front of Furuzono-Sekibutsu with the sutra chanting by the monks.", "Attendees will receive wind of Daihannya-kyō (Mahāprajñāpāramitā Sūtra, Large Sutra on Perfect Wisdom) to purge noxious vapors and to pray for peace.", "Given the first ceremony of the year 2020, why don't you join to listen to silence and sutra as well as make a yearly resolution?", "You will also feel happy new year by walking the approach of the Usuki Stone Buddha where sunlight glows to greet you.", "We look forward to your attendance." The post features a profile picture of a stone Buddha and a navigation menu with options like Home, Page Info, Photos, Reviews, Videos, Posts, and Community.



②商店街等でのインバウンド対策の企画・実施

4月外国人技能実習生の臼杵体験

食事メニューや表示の英訳

JICAタイ国別研修やRWC2019インバウンド専用
日帰りバスツアーの受入実施



③外国人観光客等への通訳サポート及び臼杵の魅力伝達

ラグビー関係者対応：7月ウェールズ

7月～8月香港ツアー客対応

クルーズ船訪問客対応

11月オーストラリアからの臼杵焼竹宵ツアー対応

外国人メディア関係者来臼対応



④インバウンド対策に取り組む各種団体との連携

フグビー:ラグビーでまちおこし

のんき屋:第6回九州町並みゼミ開催とそのための
の実行委員会事務局

吉四六さん村グリーンツーリズム研究会

フットパス研究会:コース作り

臼杵市外国人材雇用事業所連絡協議会:日本語
教室やイベント参加

元気カネットワークうすき:5月スリランカ交流イベ
ント

南津留地区地域振興協議会:8月 KMN盆踊り



⑤その他インバウンド対策に関する企画立案

在日フランス商工会議所：企画立案、5月九州代表来日対応、11月BtoB案件成約

JICAタイ国別研修受入：企画立案、8月実施

ツーリズムおおいた RWC2019インバウンド専用日帰りバスツアー：企画立案、10月実施

ケンブリッジ大学インターンシップ：企画立案、7月ケンブリッジ大学担当教官来日対応、2月～3月インターン生就労対応



ふりかえり

- 臼杵におけるインバウンド事業開発は難しい。RWC2019も象徴的だったが、試合観戦(+前後泊)だけの大分訪問客が多く、観光は県全体の課題と思う。
- 臼杵の観光資源を活用して外国人訪問客に「何」を観光消費してもらうか、ある程度具現化はできた(e.g. 農泊、JICA研修、RWC2019インバウンド専用日帰りバスツアー、竹宵ツアー、ケンブリッジ大学インターンシップ制度など)ものの、事業性に乏しい。
- 臼杵市は観光推進体制のあり方を議論しているところであり、商店街も各種団体も「インバウンド対策」と言うほどあまり進展しておらず、むしろこれからなのかもしれない。
- 地域資源や事業環境を考慮すると、観光よりも地場産業振興(+副次的に観光効果)の方が臼杵の魅力を発揮しやすいと考える。



地域おこし協力隊年度活動報告レジュメ

文化芸術を基点とした地方再生モデルの創設

2020年3月25日
梶原涼晴

1. はじめに(「感動体験」と「地方創生」)
2. 「RADIO311～2019 部屋で見つけた希望～」興行
3. 「SORIN THE INNOCENT LORD」興行
4. 「ANJIN A NAVIGATOR OF FRIENDSHIP」興行
5. 総括と今後の展望(ムジカコンセプト)

1. はじめに(「感動体験」と「地方創生」)

2019年5月より臼杵市地域おこし協力隊としての活動に携わらせていただき、10カ月が経過しました。
「文化芸術を通じた地域おこし」という使命を受け、初年度の取り組みの中で目指した成果は、

「感動体験」を通じて コミュニティの質を高めること

です。臼杵はもとより、今の日本は感動する機会を失いつつあるように思います。ソーシャルネットワークの普及によってコミュニティのあり方は暴力的に簡素化され、そこに繋がりはあるにしても混濁入り混じる膨大な情報環境のもとではほとんどの感動に値段がつけられ、本当の感動を体験することは至難の業。携帯ゲームの世界には想像を超えるクリエイティブに心動かされることもあります。その感動は携帯画面の外、すなわち私たちが生きる社会にはいつまでも出てきてくれません。でも、本当は誰も、心のどこかで「感動」を、そしてそれを直接実感できる人間味溢れるコミュニティを、求めているのではないのでしょうか。

今日の「コミュニティ」は、自己防衛と既得権益の集合体と言わざるを得ないくらい、非常にとっつきにくいものに見えます。そして仮に誰かが誰かとの関わりを求めていたとしても、彼らの行く先であり逃げ場はどこにもなく、結果、「無関心」「無気力」「無責任」に、部屋の中、携帯画面の中、自分の世界にひきこもるしかなくなってしまっているのではないのでしょうか。

だからこそ、感動がそこにあればきつと、実はとっても単純なこと、誰かを愛する心であり、生きる勇気であり、助け合う優しさであり、夢に向かう情熱を思い出し、人々は手を取り合って目の前にある困難と向き合い、それらを克服するために行動することができるのではないのでしょうか。そしてそれが、「質の高いコミュニティ」なのでは、と信じています。

ただ、もちろん理想を掲げるのは簡単ですが、これを実行に移すためには、具体的な施策が大前提になります。ということで、次項より具体的な取り組みをご報告させていただきます。

2. 「RADIO311～2019 部屋で見つけた希望～」興行

協力隊として取り組んだひとつめの「感動体験」は、2018年に臼杵市民会館にて好評をいただいた「RADIO311」の再演でした。2018年の初演では、海岸で主人公岬の心に起きる不思議な出来事を描いていましたが、本作では岬がひきこもる部屋でストーリーを展開、近年益々問題化している家族間、友達同士の愛情の希薄化をより浮き彫りにしたかたちで上演。隣町の津久見市から「樫の実少年少女合唱団」を招聘し、カーテンコールに参加していただき、感動のフィナーレで幕を閉じることができました。



東日本大震災追悼舞台公演

RADIO 311

～ 2019 部屋で見つけた希望 ～

脚本・演出：梶原涼晴

会場：臼杵市民会館 大ホール

日時：2019年6月8日(土)18:00 / 9日(日)14:00

共催：臼杵市・臼杵市教育委員会 / 合唱参加：津久見樫の実少年少女合唱団

GROUP THEATRE

〒151-0053 渋谷区代々木 1-31-15 さくらビル 8F 合同会社ドリームシアーズアクターズクリニック内 TEL: 03-6383-4770 FAX: 03-6383-4773 email: actorsclinic.tokyo@gmail.com HP: actors-clinic.info

公演概要

- 演目 東日本大震災追悼舞台公演「RADIO311～2019 部屋で見つけた希望～」
- 主催 GROUP THEATRE「RADIO311」実行委員会 ■ 共催 臼杵市、臼杵市教育委員会
- 脚本・演出 梶原涼晴 ■ 音楽製作 寺田志保、長谷川彰介、海老原真二
- 製作協力 うすき女性防災士連絡協議会、DIVINE、beachwalkers、MINE プロダクション、アーティストボックス
- 日程 2019年6月8日(土)18:00～20:00 (Aキャスト/開場:17:00)
※開演前17:15より、舞台上にて故・塩屋俊監督を偲んでレセプションを予定しております。
6月9日(日)14:00～16:00 (Bキャスト/開場:13:00)
- 会場 臼杵市民会館大ホール (大分県臼杵市臼杵72-83 / TEL: 0972-63-7977)
- あらすじ
生きる意味を見出せずに自室に引きこもってしまった女子中学生の岬を突如襲う激しい揺れと津波。8年前に起こったはずの東日本大震災を直接体験し、そこで出遭った招かれざる客人たちとの不思議な時間を経て、少しずつ、岬の世界は変わっていく——未来を担う若い世代に命の尊さと愛することの大切さをメッセージする。GROUP THEATRE オリジナル代表作。2016年の東京芸術劇場、2017年の伊豆映画祭、そして2018年に行われた臼杵市民会館での初演から約1年の時を経て再び臼杵に凱旋。

■ Ticket information < 発売開始日：2019年4月25日 13:00 >

- チケット：前売 2,000円 / 当日 2,500円 (全席自由)
- ご予約：CoRich チケット (<https://ticket.corich.jp/apply/99450/>)
- プレイガイド：甲斐楽器、クドウ電器、かぼす工房



■ お問い合わせ GROUP THEATRE 事務局 (渋谷区代々木1-31-15 さくらビル地下1階 合同会社ドリームシアーズ内)
email: actorsclinic.tokyo@gmail.com / Tel. 03-6383-4770 / 担当: 大谷

(※上記電話番号は弊社が運営しておりますアクターズクリニックスタジオ業務と共有させていただいているため、お電話でのお問合せをいただいた際、留守になってしまった場合はお手数ですがお名前との連絡先、ご用件を残していただければ事務局より折り返しの連絡させていただきます)

出演者 (※A：6月8日の公演に出演、B：6月9日の公演に出演)

臼杵市内、大分県内からは現役中高生が多数出演、そして「津久見樫の実少年少女合唱団」による感動のフィナーレをお届けします！

山口由莉 (B)	荒川裕羽 (A)	小松吉 (A)
森重里沙 (B)		

3. 「SORIN THE INNOCENT LORD」興行

協力隊として取り組んだふたつめの「感動体験」は、臼杵に深い縁のある大友宗麟を主人公にした舞台「SORIN THE INNOCENT LORD」の興行です。企画、脚本、演出、主演のすべてを担い、殊脚本に関しては、資料に残る史実を単に辿るのではなく、現代への希望に繋がるメッセージを積極的に探り、推測し、描き上げました。ここで、本編の重要なメッセージを担う立花道雪が宗麟に遺した言葉、そして死を目前にした宗麟の最期のモノローグを、改めてご紹介させていただきます。



■立花道雪が宗麟に遺した言葉(本編より抜粋):「いくら国を守るためとはいえ、人を斬るのは気持ちの良いものではない。同じく国を守るという大儀を背負ってわしに斬られた何千の魂が、わしを奈落へと引っ張っておる。その重みに耐えきれなくなった……耳川で討死した者たちを追っていればよほど武士らしく死ねたのだが……お主が夢見る戦なき国なるものを、どうしてもこの目で見てみたかったんじゃ……耳川の時より筑前に攻め来る島津はことごとく叩き斬ったが、やはりわしもただの人、雷神とはいかぬ。わしごとき一介の武士には、世は動かせん……これでしまいじゃ。だが、お主は違う。命あるうちに、その大儀、成就するんじゃ。それがムジカ国でもキリスト国でも神の国でも、何でもよい。戦なき国を、お主が、つくるんじゃ。世は戦国と人は申すが、わしは実のところ、人と人が殺し合うのは世のせいではないと思っておった……人の、性なのだ。人がもともと殺し合うために生まれてくるならば、いくら戦を否定しても、焼け石に水。だがお主はそこに真水を注ぎ続けた……」

■宗麟最期のモノローグ(本編より抜粋):「わかったぞ、この胸の痛みの正体が……愛を知り、受け入れ、そしてそれを失うさだめを知ったことへの痛みだったのだ……この痛みこそ、わしが生きた証……お主らは知っておったのだな、愛を知らぬわしに、それが何なのかを教えてくれた……愛とは、痛みだ……！わしはこれで満足して死んでいくのか……いや、痛みをおしてでもこの世でやるべきことがある……もう神も仏もいらぬ、教えが世界をひとつにすることなど、この先も起こり得ぬのだ、それをわしは今ようやく知った。わしにはこの生涯で出逢うてきた者たちの想いだけ、それだけで十分じゃ。わしはお主らと、この世とあの世を渡ろう。わしが生きながらにして神となり、時を動かし、戦なき国をつくってみせる、後世に続く、戦のない、愛に溢れた国じゃ、ムジカ国をつくってみせる！」



本作における大友宗麟が、愛の宣教師のような存在ではなく、まさに「愛そのもの」を象徴しているということは、上記の言葉からもご理解いただけるのではないかと思います。彼は死を目前にして、彼自身が無意識のうちに内包していた愛を、生涯に亘って彼を支えてきた家臣や妻たちという鏡を通じて遂に知る、という物語です。RADIO311に続き、多くの臼杵市民に感動を与えられたはずと感じています。

**今後も、本作の全国展開を通じて、臼杵＝歴史が息づく文化芸術のまち、
といった認知を継続的に獲得していきたいと考えています。**

4. 「ANJIN A NAVIGATOR OF FRIENDSHIP」興行

そして現在、協力隊として取り組んでいる三つ目の「感動体験」が、日蘭交流420周年・三浦按針没後400年記念舞台公演「ANJIN A NAVIGATOR OF FRIENDSHIP」です。コロナウィルス流行の影響で、三浦按針の命日である5月16日を皮切りとした公演は残念ながら延期となってしまっておりますが、臼杵のみならず、現在日本中、ひいては世界中で「不要不急」の象徴としてみなされ、後回しにされてしまっている文化芸術の復権・復興のために、そして何より今後益々混迷していくであろう世界のために、最高の作品、最高のパフォーマンスをつくりあげ、臼杵から、世界中に、人間が本来備えている「優しさと強さ」を届けたい、と願っています。



6. おわりに(本プロジェクトの理念)

協力隊として活動を始めてから10ヵ月が経過しました。

世界中が厳しい環境ではありますが、「ANJIN」の開催を何とか実現し、これをひとつの契機として、臼杵市に質の高さを世界中に誇れる演劇団体「劇団ムジカ」を立ち上げたいと考えています。

MUSICA
THEATRE

2年目も、3年目も、そして5年後も、10年後も、ここ臼杵の地を人生の拠点として、日本に、ひいては世界に、芸術文化を通じて、愛と感動をもういちど思い出してもらえるように、アーティストとして、クリエイターとして、そして人間として、生涯をかけて取り組んで行こうと思います。

芸術で世界は変えられる。ムジカコンセプト。

次年度も引き続きご指導ご支援の程宜しくお願い致します。

ムジカ、とは、ラテン語で音楽、という意味です。
戦国時代に九州六ヶ国を治めた大名、大友宗麟が建国を夢見た国は、ムジカ国。
誰もが平等に、健全に過ごすことができ、
誰もが平等に、幸せになる権利がある、そんな国。
彼は実際、領内に無料の病院や孤児院を建設するだけではなく、
日本で初めて西洋音楽や西洋演劇を取り入れたそうです。
隣国との間では矢弾が日々飛び交う中であったにもかかわらず、
彼が音楽や演劇をはじめとした芸術を積極的に奨励したのは何故でしょう。
それは、健全な国づくり、ひいては人の幸せには、
芸術が不可欠だ、ということを知っていたからなのではないでしょうか。
今、戦国時代よりも無秩序に、
お金や情報という矢弾が私たちの周りを飛び交っています。
そして芸術への純粋な興味や情熱は、
それら無秩序な矢弾に当たっては砕けています。
でもそのままでは、いつか私たちは、
芸術はおろか、幸せとは一体何だったのかを忘れてしまう。
だから今、少しずつ、少しずつ、つくってきたい。
芸術がまずそこにある環境を。
それがまっとう、ひとをつくり、まちをつくり、あしたへと繋がっていくはず。
芸術で世界は変えられる。
ムジカコンセプト。

ART CAN CHANGE THE WORLD

GROUP THEATRE

グループシアターは、大分県臼杵市、静岡県伊豆市土肥町での活動をはじめ、
演劇を通じたひとづくり、まちづくりに積極的に取り組んでいます。

ムジカコンセプトに関するお問合せ：ムジカコンセプト東京事務局（株式会社 DIVINE 内）
〒107-0062 東京都港区南青山 4-25-14 2F TEL：03-5962-7592 FAX：03-5962-7593 Mail：info@divinejpn.com

令和元年度

「臼杵市地域おこし協力隊」活動報告

増本郁子：就任1年目

<担当>

移住・定住

<ミッション>

移住・定住支援のPR

移住希望者への現地案内等のアテンド及びアフターフォロー
空き家バンクの登録物件を増やすための空き家発掘・登録

移住者の定住に向けたサポート

その他移住・定住の促進に関する企画立案

<活動期間>

R1.08.21 – R2.03.18 (約7カ月)

<1年目の心がけ>

臼杵（地域 / 人）を知る

⇒ 臼杵の隅々に出かけ、様々な人に会い、臼杵について学ぶ

過去の取り組みや他市の取り組みを知る

⇒ 過去に実施された、協力隊員ミッションを含めた地域活性に関する取り組みを調べ、継続されていない要因を探る。必要性がある場合は継続可能な施策へのカスタマイズや、他市の取り組みを参考にしながら再実施の可能性を考える

任期終了後に関する情報収集と考察

⇒ 融資・補助金制度の確認、事業計画書案を作成するなど、実現にむけて現実的な計画と取捨選択を行う

<セミナー / イベントの参加と活動内容①>

移住・定住関連（主催：臼杵市）

2019.11 第2回 うすきおためし暮らし 知りたい!! 臼杵の就業・起業・継業
ツアー内容のアイデア出し、ツアー同行、臼杵市の紹介

2019.12 第1回 移住者交流会「つながりみ～ていんぐ」
交流会内容のアイデア出し、事前準備、当日の設営、運営

2020.1 第3回 うすきおためし暮らし 悠々自適？に臼杵で暮らす
ツアー内容のアイデア出し、ツアー同行、臼杵市の紹介

2020.2 うすきとつながり&あじわいフェア in 東京
当日の設営、臼杵市の紹介、参加者との交流

<セミナー / イベントの参加と活動内容②>

移住・定住関連（臼杵市主催以外）

2019.9 ふるさと回帰フェア in 東京（主催：ふるさと回帰支援センター）
移住相談対応

2019.11 おおいたフォーラム in 東京 アクティブシニア向け（主催：大分県）
中津市 / 佐伯市 / 臼杵市の移住補助制度を含めた紹介及び移住相談対応

2019.12 おおいた暮らし交流会 in 杵築（主催：大分県）
移住者交流会の視察兼大分に移住して概ね5年目以内の方々との交流

2019.12 おおいた暮らしモニターツアー 若者向け（主催：大分県）
佐伯市 / 津久見市 / 臼杵市 の臼杵市パートのツアー同行、参加者へ臼杵市の紹介

2020.1 おおいた暮らしモニターツアー 女性向け（主催：大分県）
津久見市 / 臼杵市 の臼杵市パートのツアー同行、参加者へ移住制度含めた臼杵市の紹介

<セミナー / イベントの参加と活動内容③>

協力隊関連研修

2020.10 地域おこし協力隊 分野別意見交流会

大分県のおもなエリアの移住・定住・空き家バンクの取り組みのヒアリング、ワークショップなど

2020.1 地域おこし協力隊 初任者研修

行政基礎講座、OBOG事例発表、講演の受講、ワークショップなど

その他

2019.10 – 2020.3 臼杵市の観光推進体制のあり方を考える会

ワークショップのグループワークにて意見交換など

2020.2 臼杵市創業支援セミナー

任期終了後の準備のために受講

<セミナー / イベント参加後の所感①>

移住・定住フェア

⇒ 移住フェアで臼杵市を知った方にモニターツアーの情報提供を行うことでツアーの参加につながった事例があり、こまめな情報発信を行うことにより、興味を深めてもらえることを実感した。

⇒ 他市も参加する移住フェアは、市の魅力を伝える有効な方法の比較、情報収集が出来る

移住モニターツアー

⇒ 参加者によって、移住に向けた意志の温度差があるため、特に臼杵市のモニターツアーでは、一律のメニューではなく、参加者の要望に応える個別メニューを用意して、短い滞在時間でも移住にむけた一歩を踏み出せる機会としたい。これまでも状況に合わせてフレキシブルに対応していたが、メニューとして予め用意できるよう検討する

⇒ 農泊は好評。アンケート集計結果の共有を引き続き行う

<セミナー / イベント参加後の所感②>

移住者交流会

- ⇒ 第1回「つながりみ～ていんぐ」は、約80名の方にご参加いただき、多くの方が交流を求めていることを実感した。
大勢が集まる交流会のほか、移住後・移住希望者が気軽に雑談交流ができる「場」づくりも行いたい
- ⇒ 大分県主催の移住者交流会は、他のエリアに移住した方の暮らしについて伺うことができた。また、知り合った方が杵築市の空き家バンクを利用しており、会の終了後に家に訪問させていただいた

県内協力隊員同士の意見交換・交流の場

- ⇒ 協力隊制度の活用方法や空き家バンクの取り組みの仕方は各自治体で異なるため、他市の状況を直接担当者から聞けることは大変参考になった。
臼杵市の運用方法に沿うもので、取り入れたいことを担当職員に相談した

<空き家バンク業務 今後取り組みしたいこと>

登録希望者対応 / 調査 / 査定 / 登録 / 内覧希望者対応

🔊 空き家バンク情報案内

臼杵市役所HP

- + 民営無料サイト（LIFULL / at home）の活用
- + メールリストを利用した、最新登録情報の発信

🔊 制度の告知方法

固定資産税納税書に案内リーフレットを同封
地域振興協議会の総会にて説明会を実施

ケーブルテレビ出演

空き家相談会の実施

- + 地域の方や振興協議会との連携

<移住・定住業務 今後取り組みしたいこと>

移住フェア / 移住モニターツアー / 移住者交流会

☞ 移住・定住関連案内

「うすき暮らしナビ」(臼杵市役所)

ニッポン移住・交流ナビ「JOIN」(一般社団法人 移住・交流推進機構)

「全国移住ナビ」(総務省)

+ 「うすき暮らしナビ」のリニューアル

+ 「JOIN」の有効活用 ※「全国移住ナビ」は3月末で閉鎖

+ メールングリストを利用した、臼杵の定期的な情報発信

☞ 移住フェア / 移住モニターツアー / 移住者交流会

「うすきおためし暮らし」(臼杵市)

「おおいた暮らしモニターツアー」(大分県)

+ モニターツアーメニューの見直し

+ 移住・定住サテライトスポットの開設

<2年目にむけて>

「うすき暮らし」も7カ月となり、生活にも慣れてきました。
山・川・海の豊かな自然と、人に恵まれ、
生活の基盤を築かせていただいております。
みなさまのご支援に改めて感謝申し上げます。
協力隊の業務に加え、地域イベントやボランティア活動に
参加しながら臼杵について学び、
初めて臼杵を知る方、もっと臼杵を知りたい方に、
しっかりと魅力を伝え、臼杵のファンが増える一つの力になれるよう
業務に励みたいと思います。
2年目もどうぞよろしくお願いいたします





臼杵市 地域おこし協力隊

有機農業研修生 活動報告

左から順に

◎4期生
東京出身
飯沼 孝太

◎3期生
埼玉出身
山田 茉莉子

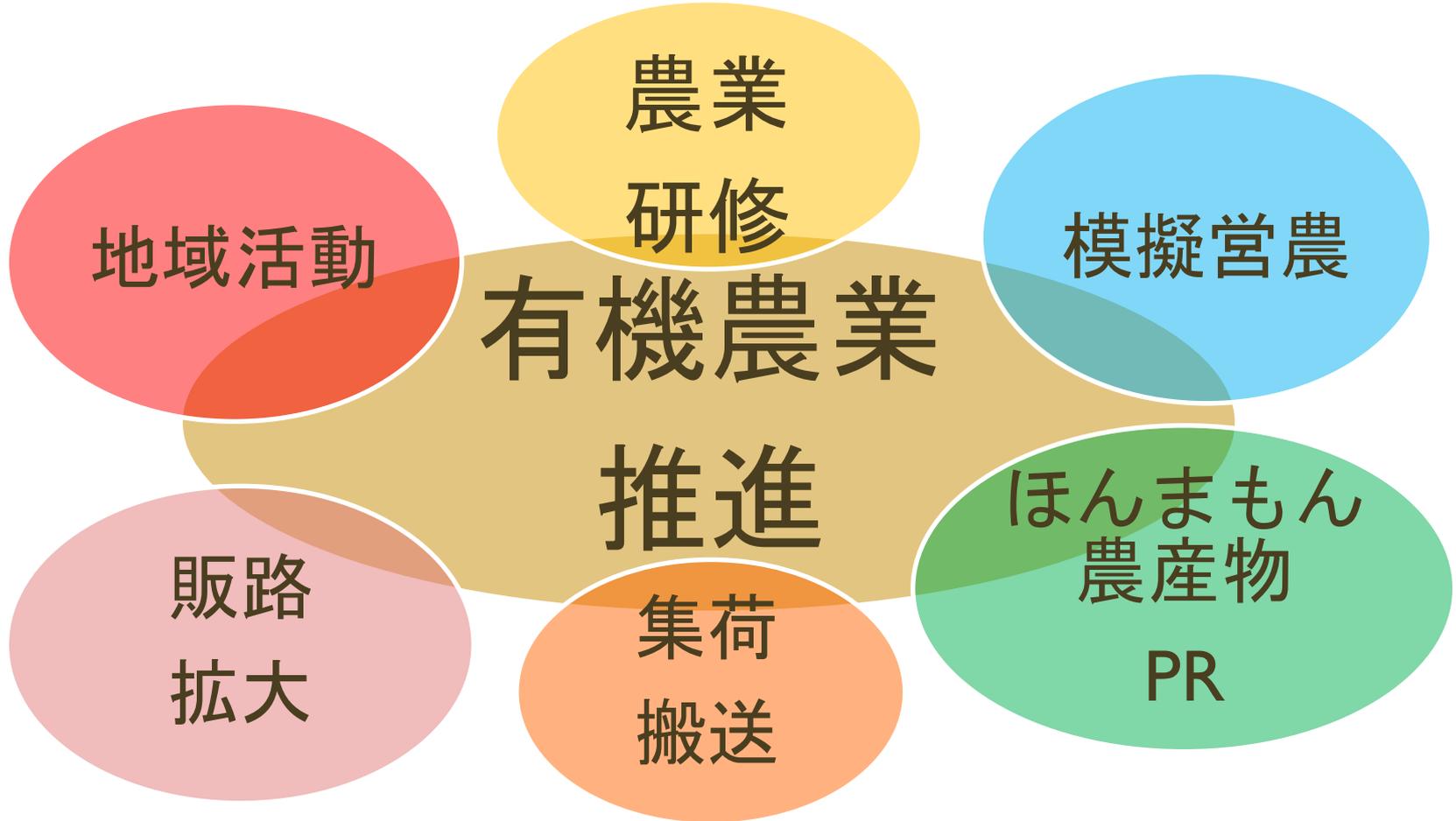
◎3期生
京都出身
林 大悟

◎3期生
大阪出身
洲崎 敦子

隊員紹介



私たちの任務



農業研修指導者 藤嶋さん



臼杵市野津町で、30年以上有機農業を実践されており、ほんまもんネットワークの会長も務めておられます。

農業初心者の私たちに、種の蒔き方、畝の作り方、農業用機械の使い方など、嫌な顔せず一から優しく指導していただいています。

農業研修について(1)



私たちは普段、藤嶋さんの指導の下、毎日農作業を行っています。

一口に農作業といっても、草刈から、畑の耕耘、肥料の散布、苗づくり、マルチ張り、植え付け、誘引、収穫等、様々です。さらに、これらの作業は野菜によって、肥料の量や、畝の幅、水のやり方等それぞれ変わってくるので、覚えることは山ほどあります。

また、将来ほんまもん農家として独立するためには作った野菜を販売していくことも重要です。藤嶋農園では、野菜を作って終わりではなく、収穫した野菜を綺麗に調整し、重さをはかって袋詰め、値段付けまで一貫して指導して頂いています。

農業研修について(2)

種まき～育苗



藤嶋農園では苗は買わずに自分たちで種を蒔いて育てます。種の蒔き方は野菜によって様々です。畑に直接蒔くもの、セルトレイに蒔くもの、ポットに蒔くもの、育苗箱に蒔くもの。水やりに関しても、種が腐りやすいウリ科やマメ科は少なめにする必要があります。



セルトレイや育苗箱に蒔いたものは、ある程度大きくなってきたら一回り大きいポットに移植する鉢上げ作業を行うこともあります。

左上の写真は育苗箱に蒔いた種、下の写真は鉢上げ後の写真です。

農業研修について(3)



土づくり～マルチ張り

苗作りと並行して、植え付け場所の土づくりを行います。藤嶋農園では、夢堆肥、発酵鶏糞、菜種油粕等を主に使用しています。これらを自分たちで散布し、トラクターを使って耕耘します。この作業は雨が続いて土が重くなるとできないので、天気に左右されやすい作業です。

寒い時期は、植え付けても地温が低くて根の活着が悪く、野菜の成長が遅くなってしまうことがあります。そういう時は、黒マルチやビニールトンネルでなるべく地温を上げることもあります。

農業研修について(4)



植え付け～その後の管理

苗が定植できる状態になったら植え付けを行います。灌水設備の無い畑では雨が降る前を狙って植え付けすることもあり、天気予報チェックは必須です。

植え付けた後も、草が生えれば除草し、ツルが伸びればネットを張って誘引し、虫が付けば取ったりと、日々の観察が重要になります。

農業研修について(5)

収穫～袋詰め

数々の苦難を乗り越えていよいよ収穫です。自分たちで種から育てた野菜を収穫する喜びは、育てた人だけが味わえる感覚だと思います。

収穫後は、土付きのものは泥を払うか水洗いし、葉物は外葉を落として綺麗にして袋詰めできる状態にします。暑い時期の葉物は、収穫後ちょっと置いておくだけですぐにしなびてしまうので注意が必要です。

最後に重さを量って袋に詰め、出荷できる状態となります。



農業研修について(6)



こちらは踏み込み温床づくりの様子です。2月頭頃、ビニールハウス内に深さ25cm程度の穴を掘り、落ち葉やワラ・米ぬか・油かすを入れてたっぷり水やりをしながら踏み込んでいきます。その後軽く土をかけて、何日か置くと発酵が始まり発酵熱で、地温が30度近くまで上がります。夏野菜の苗は、寒さに弱く、発芽にも温度が必要なので、こうした自然由来のものを利用して、発酵熱を発生させ、苗を温めてあげます。

農業研修について(7)



左の写真は何年も使われていなかった畑の様子で、2m以上にもなるセイタカアワダチソウが一面に生えていました。

私たちの研修用の圃場とするため、この草を刈り、トラクターをかけるという開墾に近い作業も行いました。

右の写真は切干大根を作っている様子です。千切り状態にした大根を天日干しします。晴れ間が続かないとなかなかできない作業です。

農業研修について(8)



他のほんまもん農産物生産者の方の所へ研修に行くこともあります。左の写真はマコモタケの栽培されている方の圃場を訪れた時の様子です。マコモタケという普段あまり目にしない野菜について知ることができました。

その他にも、ピーマンやナスの誘引の仕方、ビニールトンネルのかけ方等、人によってやり方が様々なので、ほんまもん生産者さんのところに研修に行くことは非常に勉強になります。

そして、農家さん毎に様々なスタイルで有機農業を実践されているので、自分に合ったスタイルを探す際にも参考になります。

集荷・搬送について



搬送
に使用
する保
冷車

野津の生産農家さんから野菜を集荷し、臼杵の学校給食センターへの配達を行っています。



トキ
ハ本店
地下2
階
ほん
まも
ん農
産物
専用
エリア

週に3回、大分市のトキハ本店の専用エリアに、ほんまもん農産物生産者の皆さんの野菜を搬送し、陳列を行っています。

ほんまもん農産物のPRについて(1)



ほんまもん農産物のPRの為に、県内外のイベントに参加することもあります。

左上の写真は臼杵市内で行われた旬食フェスタにおいて、私たちが作った野菜を試食を交えながら販売した際のものでした。

ほんまもん農産物を実際に食べてもらうことで良さを知ってもらい普及につなげようと考えました。



左下の写真は臼杵市内の八町大路で行われた食フェスです。

ひやくすたメンバーと一緒に、普段あまりほんまもん農産物の販売をしない場所でPRを行いました。

ほんまもん農産物のPRについて(2)



東京で行われた販売イベントです。こういった活動が実り、東京方面の野菜の宅配セットや、飲食店からのほんまもん農産物の注文が以前より確実に増えています。

野菜販売イベントの他にも、移住希望者への相談会や、地域おこし協力隊の誘致イベントなどにも参加しています。



※今年度参加したイベント名
国際オーガニックEXPO、ふるさと納税感謝祭、ふるさと田園フェスティバル、地域おこしフェア、大分暮らし塾(大阪、東京)、旬食フェスタ、食フェス、蔵出し、蔵開き、OITAオーガニックフェスティバル、臼杵チャンネルイベントetc

ほんまもん農産物のPRについて(3)



ふるさと納税の返礼品を通してほんまもん農産物のPRも行っています。

写真は、約10品目の旬の野菜を詰め合わせたセットで、評判が良く去年と比較しても倍以上発送しています。

また、ニンジンやジャガイモの単品セット等もあります。



ほんまもん農産物のPRについて(3)



メディアに出演して、ほんまもん農産物のPRを行うこともあります。

左上の写真が、八丁大路商店街で開催された食フェスについて、臼杵ケーブルテレビで宣伝した際のものです。

下2枚の写真は、毎月第1週の水曜日に臼杵ケーブルテレビで放送されている「ほんまもんご飯」に出演した時の様子です。この番組では自分たちが育てている野菜の様子と、その野菜を使った料理の紹介を行っています。



地域活動等について(1)



地域活動の一環として、小中学生の農業体験の受け入れも行いました。

里芋やジャガイモの収穫を行い、収穫の喜びを共に分かち合いました。



下の写真は市が運営しているオーナ一農園の様子です。

当日は役所の方たちと一緒に受付や、植え付けの補助など運営のお手伝いを行います。

地域活動等について(2)



左の写真は、野津で毎年手植えで田植えをされている方の所で田植え体験をさせていただいた際の様子です。田植え機を使って田植えを行う農家が多い中、手植えで行う田植えという貴重な体験ができました。秋には新米をいただき、美味しいお米を食べることができ喜びを改めて感じました。

地域活動等について(3)



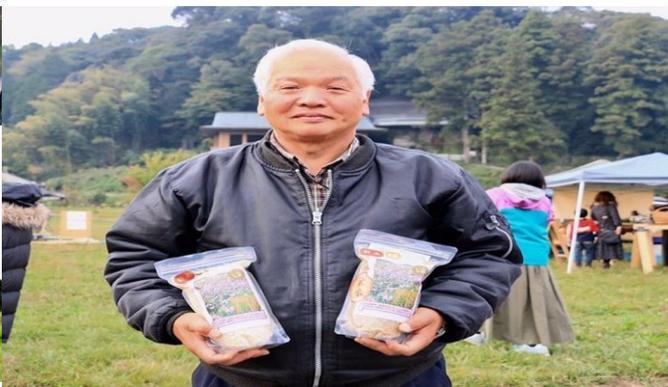
こちらは、Usuki Farmer's Market ひやくすたの写真です。

「ひやくすた」とは「百姓ニュースタンダード」の略語で、「農家と消費者が“Face to Face”の関係性を築く」、「有機農業の横の繋がりを深める」を目的とした販売イベントです。

同じほんまもん農産物の生産者の方や、私たちの野菜を使って調理してくれる飲食店の方が出店しています。



ひやくすた 出店者の方たち



地域活動等について(4)



こちらは、臼杵の商店街（豊屋町）にある「こまちゃん食堂」です。ワンコインランチで、美味しい家庭料理が食べられます。ある時、店主の児玉さんが、お店で「ほんまもん農産物」の販売をやってほしい、と声をかけてくださり、このイベントが実現しました。テーマは「元気を食べよう」でした。野菜の販売と共に、私たちの野菜を、児玉さんが素敵なメニューにアレンジして提供してくださいました。臼杵の方にほんまもん農産物のことや児玉さんの料理の魅力をお伝えできる、貴重な機会となりました。



今年度の振り返り & 次年度の目標



3期生 山田茉莉子



今年度は、茄子の追肥・仕立て方・トマトの雨よけハウスの立て方・台風が来た時のビニールのはぎ方・トマトの乾燥時間に課題が残りました。来年度は、今年度学んだ内容を活かして再挑戦したいと思います。また、来年度はメロンの立体栽培にも挑戦するので、美味しいメロンが作れる様、頑張ります。

3期生 洲崎敦子



今年度は出来る限り色々な野菜に挑戦し、卒業後に作り続けたい野菜を探す一年にしていますが、今はおおまかに野菜を絞ることができました。

次年度はラストイヤーになるので、この一年間で可能な限りの失敗をし、それを糧にして卒業後に活かせる年にします。

3期生 林 大悟



今年度は、自分がなぜ有機農業をしているのかについて考えることの多い1年でした。そして、自然と共に生きることの面白さと厳しさを実感しました。

次年度が研修最後の年になるので、将来どんな農家になりたいのか、どんなスタイルがいいのか明確に固めていきたいと思います。

4期生 飯沼孝太



今年度は生産、販売、配達、その他普及活動など与えられた仕事をこなす日々でしたが、次年度は主体的に活動できる時間が増えるので、生産や販売だけでなく、食の大切さを改めて感じてもらえるような企画を積極的に立案していきたいです。また、これからを担う若者たちにほんまもん農産物を食べてもらいたいので給食への食材提供にも力を入れたいです。

ありがとうございました。

